

【許可の内容】

平成 29 年 4 月 1 日 現在

事業計画の概要

- 産業廃棄物収集・運搬業
- 産業廃棄物処分業
- 特別管理産業廃棄物収集・運搬業
- 汚泥のリサイクル（造粒固化・セメント原料・コンポスト化）
- 各種管路更生工事
- 各種管路調査
- 法面保護工事

事業計画 （ * 各許可証はホームページ上で公開 ）

【産業廃棄物収集・運搬業（特別管理）】

排出事業者から産業廃棄物（業許可証参照）を収集運搬する。

バキューム車・水密ダンプ車等の保有車両にて自社の中間処理場へ運搬する。

産業廃棄物の飛散、流出、悪臭の防止については、バキューム車は完全密栓し走行。水密ダンプ車においては天蓋付きの為、飛散流出、悪臭の防止措置に万全を期することができる。

・ 収集運搬量 ----- 平成26年度 約23,600 t

【産業廃棄物処分業】

-中間処理-

- ・ 天日乾燥 ----- 処理能力 97立米/日
- ・ 焼却 ----- 処理能力 4.95トン/日
- ・ 選別 ----- 処理能力 400トン/日（8時間）
- ・ 固化 ----- 処理能力 488.6立米/日
- ・ 発酵（汚泥） ----- 処理能力 50トン/日
- ・ 発酵（動植物残さ） ----- 処理能力 50トン/日
- ・ 油水分離 ----- 処理能力 4トン/日
- ・ 造粒固化 ----- 処理能力 240立米/日
- ・ 移動式造粒固化（広島市） -- 処理能力 1,200立米/日（8時間）
- ・ 移動式造粒固化（広島県） -- 処理能力 1,200立米/日（8時間）
- ・ 移動式造粒固化（呉市） ---- 処理能力 1,200立米/日（8時間）

産業廃棄物は各種中間処理を施し、リサイクル施設や最終処分場へ搬入。

【汚泥のリサイクル】

無機性汚泥（造粒固化・セメントリサイクル）

各所から排出される無機性汚泥を自社処理場にて中間処理を行いセメント工場にて原料としてのリサイクルと、自社工場において造粒固化処理を行い、リサイクルを行う。

有機性汚泥（コンポスト化）

原料搬入棟・発酵棟・工場棟・配送ターミナルを自社工場内に配置し、下水汚泥・脱水ケーキを、樹皮・ピートモス・パーライトと混合発酵、製品化し販売を行う。

【各種管路更生工事】

地中に埋設された各種管渠、工場内の配管、ガス管の老朽化を特殊工法にて改築・修繕を行う。

【各種管路調査】

口径の小さな管渠では、目視による判断は不可能な為、自社保有のTVカメラで調査を行い、木根除去・取付管突出除去等の対策実施。

【法面保護工事】

法面の植生工、抑制工、抑止工、落石防護柵工の各工種を自社施工管理のもと行う。

【土壌汚染対策】

掘削除去処理

『掘削除去処理』とは、土壌汚染対策手法の一種で、有害物質の直接摂取及び地下水経由の観点からの措置として用いる処理工法。

オンサイト処理

汚染土壌を、その場所にある状態で不溶化することにより、土壌汚染対策法（2002）に基づく土壌溶出量基準以下の土壌にする措置。不溶化が可能な重金属等（第二種特定有害物質）に対してのみ適用できる。



KANKYO KAIHATSU KOSHA
CO., LTD